

平成 24 年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

三次市教育委員会

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	光村図書	<p>「単元・教材の目標」が単元の扉と教材の冒頭に示されており丁寧であり、目標と一致した評価項目の記述もある。</p> <p>「伝統と言語文化に関する内容の記述」が充実しており、単元の工夫がある。</p> <p>「学習の見通し 学習過程 ふりかえり」の記述が明確である。生徒が見通しをもち、主体的に取り組んだり振り返ったりする学習に役立つ工夫がある。</p> <p>主題を設定し、各領域を関連させた単元設定となっている。</p> <p>読書に関わる内容や紹介されている書籍数が多く充実している。各学年に「読書と情報」の単元があり、読書と情報活用が意識されている。</p>
書 写	学校図書	<p>姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方が詳しく、写真もわかりやすい。手紙など日常生活の中の書体の具体例を示した教材があり、意欲・関心を高めている。</p> <p>冒頭に目標を示し、毛筆教材を使って学習を進め、そこで習得した内容を硬筆教材で確認・定着するよう教材を配列している。また、単元の最後に自己評価するようにしている。</p> <p>手本の字が美しい。また、説明のために薄墨と朱の二色で筆使い、筆順・筆脈等を示したり、楷書と行書を比較したりしている。</p> <p>書き初めや寄せ書きなど、学習や日常生活に生きる言語活動例が示されている。</p>
社 会 (地理的分野)	東京書籍	<p>「地理スキルアップ」のコーナーがあり、基礎的な知識・技能をわかりやすく習得できるようにしている。</p> <p>説明、グラフ、表、マッピング等、学習のまとめ方の例示が数も種類も多く提示されており、言語活動の充実が図りやすい。</p> <p>身近な地域の調査の手順の中で、「仮説を立てる」ことが示されている。</p> <p>イラストや写真が多く掲載されており、サイズも大きいので見やすい。</p>
社 会 (歴史的分野)	日本文教出版	<p>地図、年表、図表、グラフなど多様な資料が多く掲載されている。</p> <p>脚注・側注において本文を補足する説明がかなり多く掲載されている。</p> <p>資料に固有のマークをつけて、資料を読み取るポイントや学習した内容を活用する問い等を示している。</p> <p>小単元において「どのように・・・したのだろう」「なぜ・・・だろう」等、多面的・多様的に考察させる工夫がされている。</p>
社 会 (公民的分野)	日本文教出版	<p>見開き 2 ページを使った問題場面の提示、4 コママンガ、コラム等、現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例を多く示している。</p> <p>総ページ数が多く、各大項目におけるページ数も多い。</p> <p>ディベート、ブレインストーミング、企画書の作成など、発展的な学習の事例が多様に、また数多く示されている。</p> <p>写真、地図、図表、新聞記事など、多様な資料が、かなり多く掲載されている。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
地 図	帝国書院	<p>総ページ数が多く、世界の諸地域、日本の諸地域のページ数も多い。「地図の特色をとらえるポイント」では、北陸3県を例に、7つの考察の仕方に基づいた活動内容を例示している。</p> <p>「やってみよう」と題し、実際に作業ができるような学習課題を全部で47箇所にはけている。</p> <p>日本の資料図ページでは、地域の特色をつかむための手掛かりを示している。</p> <p>世界の各州のページに「日本との結びつき」についての資料を掲載している。</p>
数 学	東京書籍	<p>基礎的・基本的な知識・技能を定着させる工夫として、各学習内容の導入で、既習内容を活用した問題を「Q」マークで示している。「ちょっと確認」で、まちがえやすい内容や、これまでに学習した内容を確認できるようにしている。</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能を定着させる工夫として、「確かめ」として、基本的内容が理解できたかどうかを確認するための問題を示している。節末の「基本の問題」では、理解が不十分な場合は本文の「例」に戻れるよう関連する箇所を明記している。章末問題では「章の問題A」として章の内容を確かめるための問題を示している。</p> <p>自学自習を行うための構成、記述の工夫として、ヒントやポイントを示した吹き出し等をうまく活用している。記載例数として第1学年「一次方程式」27、第2学年「図形の性質と合同」27、第3学年「三平方の定理」13合計67と多い。</p> <p>自分の考えをまとめ記述する活動の工夫では、各学年の巻頭で、特設ページ「ノートについて」を設け、留意点を加えてノートづくりについて説明している。各学年第1章末では、ノートの具体例を示している。各学年巻末で、特設「数学のレポートを書こう」を設け、レポートのまとめ方を例示している。</p>
理 科	啓林館	<p>単元の目標の示し方が明確で写真等もあり、単元全体を説明するのにわかりやすい。</p> <p>既習事項の確認にマイノート（別冊）がついている。</p> <p>環境保全に関する取り扱いが多い。</p> <p>ものづくりの内容が豊富である。</p> <p>科学的に探究する実験や観察の手順や具体例が豊富で、予想を立てる手立てがされている。</p> <p>科学的な概念を培うためのレポート作成の例示が豊富でチェックリストも作成されている。</p>
音 楽 (一般)	教育芸術社	<p>見開き左ページの上に横書きで、題材の上に大きな文字で目標を示している。</p> <p>我が国の伝統的な歌唱及び歌唱共通教材の扱いのうち、「長唄『勸進帳』にチャレンジしよう」では、言葉と図で音の高低を図表化して示し、歌うときに気を付けることが掲載されるなど工夫されている。</p> <p>旋律づくりの具体例として、「『主人は冷たい土の中に』のリズムを使って八長調の旋律をつくってみましょう。下のあいているところの旋律を考えて完成させましょう。」等示されている。</p> <p>鑑賞領域における言語活動の工夫では、「魔王」のワークシートは、「メモ」と示した書き込みのできる欄を設け、伴奏の形と音の高さの変化に注目させ、作曲者の意図を考えさせるようにしている。さらに、記入した内容をもとに発表しあう活動を設定している。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社	<p>各楽器の基本的な知識・構え方・奏法が写真で示されるとともに、「和楽器こぼれ話」「キーワード」「音を探そう」のコーナーを設けている。箏の奏法について、動きのわかる写真が掲載されていることや、箏の基本的な奏法について、演奏者側から見た角度の写真が掲載されるなどの工夫がされている。</p> <p>和楽器の学習方法では、それぞれに家庭式縦譜と五線譜（音符の下に漢数字での弦名）の2種類を示すなどの工夫がされている。</p> <p>巻頭に、箏、ギター、リコーダー、尺八の演奏家の写真と言葉が掲載され、さらに、「さまざまな楽器の音 ビートルズの名曲を彩る楽器」、「いろいろな長さの笛」が掲載され、興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p>巻末に「リコーダーの運指表」「ギターのコード」「ダイアグラム一覧」「楽典」「日本の伝統音楽の楽器編成」が掲載されている。</p>
美 術	日本文教出版	<p>学びのねらいが3つの観点毎に色分けされ、学習の見通しを持たせることが容易である。</p> <p>「個に軸を置くテーマ」「身の回りや生活に関わるテーマ」「社会や世界につながるテーマ」「自然や生命、環境と関わるテーマ」の4つのテーマ別に分けて題材を配列しており、中学生の発達段階に対応した学習内容となるよう工夫されている。</p> <p>色相環、色の三要素、三原色等が示されている巻末資料を見ながら、どのページでも見られるよう工夫されている。(1年)</p> <p>掲載作品数が411点あり、作家作品及び生徒作品が豊富であることから、生徒が多様な興味や関心を持って学習活動ができるよう工夫されている。</p> <p>学びのねらいの中に話し合いを促す記述があったり、言語活動の具体例が「POINT」に示してあったりして、言語活動の充実に向けた配慮がされている。</p>
保健体育	大日本図書	<p>章扉に各単元の学習内容に係る疑問点・ポイントや学習の流れの図を提示するなど、学習の見通しを生徒にもたせるよう工夫されている。</p> <p>健康・安全に関する科学的な理解を図るために、「考えよう」で資料を見るポイントを示したり、「トピックス」などの読み物の資料を扱ったりして、違った視点で解説をしている。</p> <p>体験的な学習を実施するため、挿絵等で具体的に示すなどの工夫がされている。</p> <p>実生活に関連付けるための工夫として、基本的な学習内容から実生活に生かせるための具体的な課題を示し、ロールプレイングによる実践力の育成を図るよう工夫されている。</p>
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<p>持続可能な社会の構築に関して明確な例が示され詳しく記述されている。「生物育成に関する技術とわたしたち」で栽培技術の発展、品種改良のみならず社会、環境面にも課題を広げている。</p> <p>社会や生活の中にある「技術」に興味を持たせる工夫がされている。</p> <p>技術とわたしたちの生活、技術分野の学習、技術の歴史が示されており、技術の発展について体系的に説明されている。</p> <p>実践的・体験的な学習の例示数が豊富である。また、完成作品の写真が掲載されており、製品の完成イメージが持ちやすい。</p> <p>製作品の決定までしっかりとした検討を行わせ、スケッチ、構想図、製図と具体化させていく思考の流れが示されている。</p> <p>プレゼンテーションの流れが、製作の構想から始まり、発表までの見直し、発表後の評価、改善までに及んでいる。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<p>各内容の冒頭に「学習の流れ」が示され、関連した写真やイラスト等が掲載されている。また、各項目に「学習の目標」が設定されている。伝統と文化に関する写真やイラストなどを掲載している。また、口絵では、全国の郷土料理を紹介している。</p> <p>循環型社会に関する内容で、身近な取組例と地球規模での取組例が紹介されている。</p> <p>学習方法の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を設定している。</p> <p>実践的・体験的な学習の具体例が多い。(調理実習において32事例)「課題学習の進め方」が巻末についている。</p> <p>発展的な学習について「発展」のマークを記してわかりやすく表示している。</p> <p>学習を深めるため「参考」「リンク」のマークを使用し、関連付けがわかりやすい。</p> <p>言語活動、ロールプレイングの事例が多い。</p>
英 語	開隆堂	<p>「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の言語活動がセクションごとに設定されており、コミュニケーション能力の基礎を養うよう工夫されている。</p> <p>セクション毎の「Speaking」「Let's Try」「Power-up Speaking」等でペアワークが各学年平均50箇所設定され、基本文を使った対話練習が多くできるように構成されている。</p> <p>小学校外国語活動で扱われている活動・題材を第1学年「Let's start」の中に多く取り入れ、小学校での活動経験を中学校の言語活動に生かせるよう工夫されている。</p> <p>4技能を統合的に活用させる言語活動の場面として、各学年に「My Project」を設定し、スピーチや意見等の書き方を段階的に学べるよう丁寧に構成されている。</p>